

# 平成 27 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市大岡地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

大岡地域ケアプラザの担当エリアは本大岡地区、井土ヶ谷地区の 2 つのエリアです。両エリア合わせて約 29,000 人の人口。65 歳以上の高齢者は約 6,600 人。高齢化率は約 23% というのが現状です。

両エリアの課題としては独居高齢者が高齢者の約 20% (約 1300 人) と多く、また高齢者本人のみならず本人を取り巻く家族の問題、老朽化した住居の問題、経済的な問題など、地域ケアプラザに寄せられる相談も、頼れる親族も知人もいないキーパーソンが定まらない高齢者等が増加してきており、相談窓口である地域包括支援センターが行政や地域、また様々な関係機関と連携しなければ対応できないような複雑かつ多岐にわたる相談が多くなってきています。

また、今回の介護保険制度改正のポイントとして、要支援等軽度の高齢者が介護保険制度のサービスを利用できなくなり、「総合事業」へと移行していく状況の中で、介護保険のサービスを利用できなくなる軽度の高齢者の受け皿整備が大きな課題となり、また、そこで活動できる担い手の確保、育成が地域における大きな課題となっています。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・ 開所して 23 年目となりますが、施設全体が老朽化してきており、南区役所と事前に協議を重ねながら設備、備品の不具合に関しては修繕、補修等を行っていきます。
- ・ ケアプラザのみならず「大岡健康プラザ」として地区センター、スポーツセンターと連携を図りながら、施設全体の維持管理を専門の業者に委託し、定期的な保守・点検を行っていきます。
- ・ 施設を利用される方が高齢者から乳幼児までと幅広いため、施設内で事故が生じないように施設内を整理整頓するなど事故を未然に防ぐように努めていきます。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・ 費用対効果の考え方を職員間で共有していきます。各事業においてもこれまでのやり方の見直しを行い、長年の慣習にとらわれず時間の管理、コスト管理など工夫しながら効率的な運営に努めていきます。
- ・ 職員が定着することが効率的な運営につながると考え、新採用の職員には特に定期的に「振り返り」の場を持ち、またケアプラザ全体では風通しの良い職場環境作りを図っていきます。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口（受付者：社会福祉士、責任者：所長）を設置し、苦情の申し出には迅速な対応が取れる体制を整備していきます。また、施設内に「苦情受付担当者」「第三者委員」の氏名、連絡先等を掲示し地域の方に周知していきます。
- ・ 施設内に専門機関のポスターなどを掲示し、地域の方々へも周知を行います。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 職員の緊急連絡網については、いくつかの小グループに分け、グループのリーダーにメンバーの情報が集約される体制を作り、最終的には所長に職員全員の情報が集約される体制を作っています。
- ・ 横浜市の特別避難場所として、職員に対して「特別避難場所」についての共通認識を持てるようにその目的や役割、また実際の動きなどの確認を行っていきます。また、応急備蓄品の在庫管理なども点検していきます。
- ・ 年2回の防災訓練のうち、1回を地区センター、スポーツセンターと合同で行い、「大岡健康プラザ」としての防災対策に努めていきます。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 施設内で生じるヒヤリハット、事故の事例を各種会議の中で概要、原因、今後の対策に関して職員と検討しながら再発防止に努めていきます。
- ・ 法人内外の事故事例などで、特に重要と思われる事故などには各種会議の中で職員に周知し、危機意識の醸成に努めていきます

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の持ち出しは原則禁止としています。ただし、業務上やむを得ず持出しなければならない場合は最小限にとどめること、また「持出品確認票」に記入し、その際必ず他の職員に確認を得ること、帰社時には返却の確認を得ることなどダブルチェックを徹底していきます。
- ・ USBメモリーについては「包括用」「請求用」「地域用」の3本のみを使用としています。保管に関してもキーボックスで管理し、鍵のかかる書棚にて保管しています。
- ・ パソコンにはそれぞれパスワードを設定しています。
- ・ FAX誤送信防止のための「指さし確認」「声出し確認」を複数の職員で確認しています。
- ・ 個人情報の取り扱いの研修を職員に対して行い、個人情報を何故大切に扱わなければならないのかの確認を行っていきます。

#### キ 情報公開への取組について

- ・「介護サービス情報の公表制度」に伴い、通所介護、居宅介護支援事業についての公表を行っていきます。
- ・個人情報の開示請求があった場合には、法人の「個人情報管理規程」に則り適正に対応していきます。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ・施設内で不用になっている物品、壊れて使用できない物品などを洗い出し、また業務上の書類で保管期間の過ぎたものについても時機をみて一括で廃棄処分をしていきます。
- ・今年度、横浜市の事業の中で太陽光パネルをケアプラザ屋上に設置していきます。

# 介護保険事業

## ● 介護予防支援事業

### 《職員体制》

社会福祉士	1
主任ケアマネージャー	1
経験のある看護師	1
予防プランナー	2

### 《目標》

#### 介護予防支援業務の取り組み

##### 1 看護師

要支援認定を受けた方が、できる限り自立した日常生活を送るために必要なサービスを利用できるように支援します。また、地域住民に対して介護予防の知識を普及するために、広報誌等の活用や各種会合に参加します。

##### 2 主任ケアマネージャー

介護保険制度外の制度・サービスの情報も含め、居宅介護支援事業所や介護支援専門員へのサポート、フォローを必要に応じて行います。

##### 3 社会福祉士

初期相談における総合相談窓口として権利擁護や虐待防止、早期発見に努め必要に応じて関係機関と連携をとりながら実施します。

##### 4 介護予防プランナー

年々増加する要支援の方に対してきめ細かい支援ができるように、介護予防支援を主に担当するプランナーを配置して業務に取り組みます。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
245	245	245	245	245	245
10月	11月	12月	1月	2月	3月
245	245	245	245	245	245

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

\* 居宅介護支援専門員 3名

《目標》

- \* 利用者の心身状況、その置かれている環境等に応じて、個々のニーズに沿った、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように調整を行い利用者の本位の居宅サービス計画書を作成します。
- \* 介護保険の要支援・要介護認定申請代行と区より委託を受けた認定調査を（年間150件）公正・中立な立場で実施します。
- \* 関係行政機関、医療・福祉関係機関、ボランティア団体等との綿密な連携を通じて“顔の見える関係”を構築し、問題点や課題は、随時相談・意見を求め助言を頂き、より良いケアマネジメントに反映させていきます。
- \* 医療機関との連携を深め、利用者の体調維持と状態の軽減・悪化の予防に努めていきます。
- \* 介護支援専門員の連絡会・外部機関等による関連研修へ積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 居宅介護支援において、利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- \* 地域ケアプラザの居宅介護支援事業者として、地域包括支援センター併設の利点を生かし、支援困難ケースに対しても積極的に関与します。また利用者のニーズに応じて介護保険サービスのみならず、地域住民の余暇・ボランティア活動（交流会・食事サービス・ちよこっとボランティア等）インフォーマルな活動と連携したコーディネートを行います。
- \* ケアプラザ内の他部門（通所介護・地域交流・包括支援センター）と共に地域に滞在する課題やニーズの発掘や解決煮に取り組み、ケアプラザの特徴を生かした枠にとらわれず、家族・地域支援につなげていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
90	90	90	90	90	90
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	90	90	90	90	90

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等)
- 機能訓練(日常動作訓練)
- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎
- 健康状態の確認
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - (要介護1) 794円
  - (要介護2) 927円
  - (要介護3) 1,064円
  - (要介護4) 1,201円
  - (要介護5) 1,338円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10~16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 看護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員

《目標》

居宅サービス計画書に基づいて通所介護計画書を作成し、利用者個々に必要とされるサービス提供が実施できることを目標とします。また、認知症利用者が意欲的にサービスを継続できるよう回想法をレクリエーションに取り組み、希望された利用者へ生活機能の維持のため小グループでの個別機能訓練を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

絵手紙、押し花、書道、パステル画教室などの講座をはじめ園芸やクラフト作成などの選択性レクリエーションを提供し、利用者同士のコミュニケーションの場を多く提供します。デイサービスへの参加する意義を感じていただけるサービスを目指します。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
670	680	670	680	680	670
10月	11月	12月	1月	2月	3月
680	670	640	640	640	670

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等)
- 機能訓練(日常動作訓練)
- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎
- 健康状態の確認
- 生活機能向上グループ活動
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - (要支援1) 1,975円
  - (要支援2) 3,930円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10~16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 看護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員

《目標》

介護予防サービス計画書に基づいて予防通所介護計画書を作成し、利用者生活機能維持・向上を目的として少人数でのグループ活動を実施します。また、利用者が意欲的にサービスを継続できるよう3ヶ月ごとに計画書の評価を行い、プログラム内容に反映させます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

絵手紙、押し花、書道、パステル画教室などの講座をはじめ園芸やクラフト作成などの選択性レクリエーションを提供し、利用者同士のコミュニケーションの場を多く提供します。デイサービスへの参加する意義を感じていただけるサービスを目指します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	50	50	50	50	60
10月	11月	12月	1月	2月	3月
60	50	45	45	45	60

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の福祉・保健の窓口として南区役所と連携して対応していきます。特に多問題ケースに関しては様々な関係機関と連携を密にして迅速に対応していきます。
- ・井土ヶ谷地区では毎月3回、地区の民生委員の方々と連携を図りながら「出張相談」を開催していきます。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・担当エリアに在籍する「認知症キャラバンメイト」の方々と定例会を開催していきます。キャラバンメイトの支援や「認知症サポーター養成講座」を共同で開催していきます。
- ・各地区の民生委員児童委員協議会に参加し、困難ケースの把握や介護保険制度についての講習会、研修会の開催に関わっていきます。

### 3 職員体制・育成

- ・人員配置基準を満たすこと、また資格要件を満たすことを前提として、欠員等が出た場合には速やかに欠員の補充を行い、業務に支障が出ないように法人本部と連携を図り対応していきます。
- ・人事考課制度のもと、ケアプラザ全体の目標と職員個々の目標の摺合せを行いながら、定期的に振り返りを行い、本人のスキルアップにつなげていきます。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区ともそれぞれの関係者、関係団体と日頃の取り組み、事業、会議、研修などを通して連携を図り、幅広いネットワークを構築していきます。
- ・障害者の関係においても、南区障害者連絡会、生活支援センター、また地域の作業所、特別支援学級などとも連携を図りながらネットワークを構築していきます。

### 5 区行政との協働

- ・第3期南区地域福祉保健計画の計画にも、南区役所、南区社会福祉協議会とともに参画していきます。
- ・南区の認知症事業の支援をはじめ、認知症キャラバンメイトの支援を共同で行っていきます。
- ・高齢者の虐待防止に関する研修、講座を共同で行っていきます。



## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・区、区社協と協働しアセスメントシートを活用し、情報の更新や見直しを進めます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区それぞれ開催している子育て、高齢サロンにおいて、側面的な支援を継続します。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設の利便性の良さを活かし、自助グループ AA や断酒会、障がい者団体の登録利用を進めます。
- ・マタニティヨガ教室参加者が、母親の仲間作りの場として自主グループとしての利用を促し、活動を広げます。

### 3 自主企画事業

- ・高齢者サロンの利用者数の横ばい、減少傾向が見られました。地域を側面的支援し魅力あるプログラムを考えます。
- ・マタニティヨガや障がい児余暇支援事業を早期に取り込み、区域全体で参加者の受入れを行いスムーズな運営を行います。
- ・ケアプラザの若い世代への周知、及び新しい地域の担い手候補の人材発掘を目的として、お父さん世代を対象にした活動を引き続き実施します。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・2つの地区各々の、ちょこボラ活動への受付窓口を行っています。本大岡地区のグループは、自主グループですが、事前訪問立ち会いや定例会出席、メンバー募集や広報など支援を継続します。
- ・ケアプラザでの登録を行い、本人希望の活動につなげます。
- ・地域のニーズを活かせるグループへ仲介を実施します。
- ・各団体とも日々の活動の中で、情報交換を実施します。
- ・区社協や NPO と連携して、新しい担い手を発掘する講座を行います。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ・複合施設としての窓口、他施設利用の総合的窓口として機能していきます。
- ・三施設間の情報共有を適時図る。事業や施設運営に関し協働し調整します。
- ・この地区での「福祉におけるワンストップ窓口」として、分野問わず受け止めます。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区それぞれ開催しているサロンにおいて、協力しながら側面な支援を継続していきます。
- ・民生委員など地域活動者とのつながりにも共に関わり、地域組織へのサポートに携わります。（研修会や勉強会のサポート）

#### 実態把握

- ・職員会議や法人研修などを定期的実施し、組織全体で福祉職としてのスキルアップを進めます。
- ・非常勤務者との面談を行い、職場全体としての意見を吸収します。
- ・人事考課制度を取り入れ職員の育成や評価を行い、組織としての向上を進めます。
- ・個人情報の扱いや、情報管理の基本を常に意識できるよう、会議などで確認し合い、感覚のズレを修正出来るようにします。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

- ・地域のサロンに出張して、成年後見制度や消費者被害に関するミニ講座を行います。
- ・必要な人に制度を活用できるよう、様々な制度の把握に努めます。
- ・個別支援において、消費者保護支援を行います。
- ・専門機関につなげるだけでなく、機関と連絡を密にして、時には同行などその後のフォローを実施します。

## 高齢者虐待

- ・ 民生委員や介護事業所からの情報等を基に把握や確認を行い、区とのカンファレンスでは高齢担当だけでなく保護担当など様々な機関と協議し、支援方法を確認していきます。
- ・ サービスにつながった後も、訪問や電話、事業所と連絡を取るなど継続した支援も行います。
- ・ 区役所虐待部会と協働で「虐待」に関する研修を計画していきます。

## 認知症

- ・ 大岡エリアのキャラバンメイトさんと定期的な連絡会の開催を情報交換・養成講座のサポートを継続します。
- ・ 他ケアプラザや区と連携し、認知症普及活動の展開を進めます。
- ・ 区の認知症部会に参加して、オレンジプラン等認知症関連の施策をどう展開していくか検討します。
- ・ 地区社協、区社協と連携しながら認知症キャラバンメイトサポーター養成講座をサポートします。

## 3 介護予防マネジメント

### 二次予防対象者把握

- ・ 区と連携を図りながら、お元気で21検診に参加し対象者の把握に努めます。
- ・ 井土ヶ谷地区は南センターで介護予防教室を計画しています。本大岡地区では老人会で介護予防のミニ講座を行い、対象者の把握に努めます。

### 介護予防ケアマネジメント力

- ・ 横浜市介護予防支援指導者研修で得た内容を踏まえ、区の担当と相談しながらケアマネジャー支援や講座等を企画していきます。

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 横浜市介護予防支援指導者研修で得た内容を、区の担当と相談しながらケアマネジャー支援や講座等を企画します。
- ・ 本大岡地区民生委員・井土ヶ谷地区民生委員とケアマネジャーとの交流会を継続し、顔の見える関係作りを行っていきます。

### 医療・介護の連携推進支援

- ・医療機関・薬局へ、定期的に訪問し、連携推進に努めます。
- ・南区在宅療養支援ネットワークの事務局として医療と介護の連携に努めます。
- ・民生委員とケアマネとの交流会に医療関係の方を講師として招き、勉強会を開催します。

### ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーからの相談には3職種の連携により迅速に対応していきます。
- ・電話相談、サービス担当者会議に進んで参加し、相談しやすい雰囲気づくりに努めていきます。また、虐待ケースなどの困難ケースに対しては区とケアマネジャーのパイプ役になり支援していきます。
- ・区内包括合同にて研修（インシデントプロセス手法研修）を開催します。
- ・エリア内事業所へ情報提供・相談支援のための定期的な訪問を継続していきます。
- ・区内の新人ケアマネジャーを対象に「新人ケアマネ研修」を開催します。
- ・本大岡地区民生委員・井土ヶ谷地区民生委員とケアマネ交流会を継続し、顔の見える関係作りを行っていきます。

### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・南区在宅療養支援ネットワークの事務局としてネットワーク作りに関わっていきます。
- ・個別ケースの地域ケア会議を4/年開催し、地域づくり・資源開発・政策形成等に努めます。
- ・地域包括ケア会議を開催し、個別ケース会議で抽出された課題や地域アセスメントからの課題などを参加者で共有し検討します。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

- ・介護予防教室を両地区で開催していきます。地域で立ち上がったサロンやインフォーマル情報を提供、参加を促していきます。
- ・高齢者サロンでは、定期項目として介護予防体操等を実施していきます。
- ・高齢者同士が体験談として、予防の工夫や怖かったことを話し合い、予防啓発を実施している。
- ・元気でステーション「いどがや」が井土ヶ谷地区社協中心に安定して継続できるよう区と協力して自主化に向けた支援を行っていきます。
- ・自主化された「きゅきゅっと体操教室」（尿失禁予防教室）や遊友（本大岡地区元気づくりステーション）が安定していけるよう側面的な支援を行います。
- ・老人会や地域のサロンで介護予防の講座を行います。
- ・区役所が開催する脳トレウォーキング教室が自主活動グループとして継続できるように支援していきます。

# 平成27年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名:横浜市大岡地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日  
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	16,370	24,515	149				
	介護保険収入				6,800	13,500	89,153	
	その他							
	雑収入	400					105	
	経理区分刊繰入金収入						1,620	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>16,770</b>	<b>24,515</b>	<b>149</b>	<b>6,800</b>	<b>13,500</b>	<b>91,778</b>	
支出	人件費	10,728	29,513			11,306	68,984	
	事務費	3,139	2,259	100		728	6,199	
	事業費	532	25	49		0	11,721	
	管理費	1,923	488					
	その他							
	その他支出					326	1,710	
	経理区分刊繰入金支出						1,620	
人件費消費税	920							
	<b>支出合計(B)</b>	<b>17,242</b>	<b>32,285</b>	<b>149</b>	<b>0</b>	<b>12,360</b>	<b>90,234</b>	
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-472</b>	<b>-7,770</b>	<b>0</b>	<b>6,800</b>	<b>1,140</b>	<b>1,544</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成27年度 自主事業計画書

## 横浜市大岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おしゃべり交流サロン	高齢者及び身体障害（主に脳血管障害による中途障害）のある方が家に閉じこもらず定期的に集まり自分を表現したり多くの人の話を聞いたりすることにより脳を活性化させ、また自分たちでイベントを企画のしながらみんなで継続的に創っていく会	原則毎月第2月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	ケアプラザまで歩いてくることの出来る高齢者の介護予防を目的としてボランティアの協力のもと体操やレクリエーションを行い定期的集える場所として継続的に開催する。	原則毎月第4月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大岡川ふれあいサロン	介護予防を目的として、本大岡地区社協と共催。ボランティアの協力のもと、ケアプラザまで遠い方でも身近な場所で定期的集い、体操、食事、レクリエーションを出来るよう、町内会館を利用して継続的に開催。	原則毎月第2金曜日 11：00～14：00 (8・2月 休み) 〔年10回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンサンクラブ 体操教室	知的障がいを持つ小学生の余暇活動を支援する目的で、みんなで音楽に合わせて体を動かしたり、遊びの要素を取り入れた体操教室。教室の始まる前の時間を使って早くに自由にお絵かきや粘土などのレクリエーションの他、夏休みやクリスマスのレクリエーション等イベント開催も開催。保護者においては教室の時間を利用し、学年を超えて保護者同士の交流、情報交換の場所を提供。必要に応じ勉強会も行う。	5月～翌3月 原則第1・3水曜日 15：00～フリースペース 15：30～16：30体操 〔全18回〕

# 平成27年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室	出産を迎える妊婦さんの健康維持と社会的な孤立を解消するためにヨガのほか助産師による相談や仲間作りを促すお話の時間も設ける。安心して出産に望める環境づくりを支援し虐待の予防を目指す。体操の他に、今までの卒業生を交えて出産の体験談など交流も行う。	5月～翌3月 第1・3木曜日 10:00～11:30 年3クール (1クール 5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室同窓会	ヨガ教室の卒業生が出産を終えた後、1回集まって同窓会を行う。同じ時期に近場に住む妊婦同士がヨガ教室で仲間となり、出産を通して地域での協力し合う同志を確認し合う。また、ケアプラザにおける「子育て事業」に対する意見やアイデアを出してもらい、出産後もケアプラザを通して地域参加できる仕組みを作る。	年3回・不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっと ボランティア 本大岡	身近な地域のことを地域の中で支えあえることを目指して、庭の掃除など小修繕をメインに2時間以内で出来るちょっとした事を登録したボランティアさんが対応。	随時依頼のあったとき 年間延活動見込み 件数30件

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おーおか通信 (広報紙)	本大岡・井土ヶ谷の両町内会協力のもと、約1200部を配布。ケアプラザの様子や介護保険等福祉の情報の提供を行う。さらにケアプラザからの情報発信源として、地域の情報も盛り込む	年4回発行

# 平成27年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこサンデー	公的な場所で安心して遊べる「場」の提供と、父子の交流を図る 若い世代へのケアプラザの周知	原則毎月第1日曜日 13：30～16：00 (月1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス トーンチャイム コンサート	普段ケアプラザを利用している団体や個人、ボランティアの方を始め、近隣の福祉施設利用者の方とともにクリスマスを愉しむ企画。 日頃同じ場所を利用していてもつながりがない人たちが、顔を合わせ交流を深める。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア カレッジ	今年度より開始。 介護保険の制度改正等があり、より地域活動が重要視されている中で、ケアプラザで活躍される以外の方々を対象に地域の担い手や施設のボランティアを発掘、育成する。	コース制 6月 第1回 4回コース 10月 第2回 3回コース



## 平成27年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おしゃべり交流サロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③なし						
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③300						
大岡川ふれあいサロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②240						
	③600						
サンサンクラブ体操教室	①知的障がいのある小学児童	163,000	123,000	40,000	133,000	10,000	20,000
	②200						
	③200						
マタニティヨガ教室	①区内在住妊婦	135,000	45,000	90,000	120,000	5,000	10,000
	②300						
	③1500(5回分)						
マタニティヨガ同窓会	①マタニティヨガ教室卒業生	24,500	24,500	0	18,000	1,500	5,000
	②45組						
	③なし						
ちょこっとボランティア本大岡		0	0	0	0	0	0
おーおか通信		40,000	40,000	0	0	0	40,000
にこにこサンデー	①未就園児親子	16,000	16,000	0	0	10,000	6,000
	②15組×10回						
	③なし						
クリスマス トーンチャイム コンサート	①地域全般	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	②50組						
	③100						
ボランティア カレッジ	①地域全般	30,000	30,000		27,000	0	3,000
	②40						
	③なし						

事業ごとに別紙に記載してください。